

世界ものづくりサミット 2011

最先端技術が導く フューチャーライフイノベーション

日時 平成23年

11/4 金

13:00▶16:30

場所

梅田スカイビル
TOWER WEST36階
スペース36L

未来生活における最先端技術を具体的に想起させる企業や研究機関等の取り組み事例について、「Quality of Life Technologyとその都市への展開」、「未来医療のあり方」、「サイエンス&テクノロジー、デザイン、アート」の3つのテーマごとにご講演頂くとともに、「うめきた」における、ロボット等の先端技術の開発研究拠点に求められる役割等についてパネルディスカッションを行います。



金出
武雄氏

Director, Quality of Life Technology
Center at Carnegie Mellon University
カーネギーメロン大学
生活の質工学研究センター所長



萩田
紀博氏

株式会社国際電気通信基礎技術研究所
社会メディア総合研究所
知能ロボティクス研究所
取締役 所長・ATRフェロー・工学博士



Yulun
Wang氏

InTouch Health社
(米国カリフォルニア州サンタバーバラ)
最高経営責任者



Fiorenzo
Galli氏

レオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術
博物館館長

主催: 大阪市／国立大学法人大阪大学(創立80周年記念事業、工学研究科社会連携室、臨床医工学融合研究教育センター)
共催: JSPS「ロボット共生社会実現に向けたロボットの知能発達」に関する先導的研究開発委員会、未来医療交流会
後援(予定): 経済産業省近畿経済産業局／関西経済連合会／大阪商工会議所



G
L
O
B
A
L

M
O
D
E
R
N

U
R
B
A
N

S
U
M
M
I
T

世界ものづくりサミット2011

シンポジウム 13:00~16:30 最先端技術が導くフューチャーライフィノベーション

シンポジウムプログラム

コーディネーター：浅田 稔(大阪大学大学院工学研究科 教授)

13:00~	開会挨拶	平松邦夫(大阪市長(予定))	15:00~	質疑応答 (15:05~15:15 休憩)	
13:05~		馬場章夫(大阪大学副学長)		基調講演	“Future life supported by Science, Technology and Art”
13:15~	基調講演	「QoLTの開発と展開—ピッツバーグの経験」 CMU金出武雄所長(QoLTセンター所長)	15:15~	サイエンス&テクノロジー、デザイン、アート	伊レオナルド・ダ・ヴィンチ 記念国立科学技術博物館 Galli館長
13:40~	テーマ QoLTとその都市への展開	「クラウドネットワークロボティクスによるうめきた展開」 (株)国際電気通信基礎技術研究所 知能ロボティクス研究所 萩田 紀博所長	15:40~	質疑応答	
14:05~	質疑応答		15:50~	パネルディスカッション	基調講演者 ゲスト 株式会社マッスル 代表取締役 玉井 博文
14:10~	基調講演	“Future Hospital (tentative)” 米InTouch Health 代表 Yulun Wang氏			
14:35~	テーマ 未来医療のあり方	うめきたでの「まちなか未来医療」 大阪大学医学部附属病院 未来医療センター 梅垣昌士 准教授	16:30	閉会	

ゲストパネリスト

かねで たけお
金出 武雄

1976年 京都大学情報工学科助教授
1985年 カーネギーメロン大学教授
1993年 カーネギーメロン大学U. A. and Helen Whitaker記念全学教授

専門分野はロボット工学・情報工学(人工知能・計算機視覚の基礎理論・視覚を用いた自律ロボット・新しい映像メディアとその応用・医用ロボット)

受賞/Franklin Bower賞、大川賞、Allen Newell賞、C&C賞、立石特別賞、FIT 船井業績賞、Joseph Engelberger賞、人工知能学会業績賞、IEEE Robotics and Automation Pioneer賞、IEEE PAMI Azriel Rosenfeld Lifetime Achievement賞、Marr賞など多数受賞。

ゲストパネリスト

はぎた のりひろ
萩田 紀博

1978年 日本電信電話公社 武蔵野電気通信研究所入所
1989年 米国カリフォルニア州立大学バークレー本校心理学科 客員研究員

1990年 NTT基礎研究所 研究企画部 育成担当課長
1996年 NTTコミュニケーション科学研究所 研究企画部長

2001年 10月 国際電気通信基礎技術研究所(ATR)メディア情報科学研究所 所長
2002年 同上 知能ロボティクス研究所長 兼務
2009年 同上 知能ロボティクス研究所長
2011年 同上 社会メディア総合研究所長・知能ロボティクス研究所長 兼務
現在にいたる

ゲストパネリスト

ユールン ワン
Yulun Wang

1989年 手術用ロボット開発の先駆けとなる Computer Motion社設立
2000年 米国科学アカデミーにて最も優秀な若手技術者の一人として選出
2002年 遠隔操作医療ロボットシステムを開拓し、InTouch Health社設立
2005年 アーネスト・アンド・ヤングが起業家の努力と功績を称える国際表彰制度であるアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーのファイナリストとしてWang氏を指名
2007年 カリフォルニア大学サンタバーバラ校より Venky Narayananamurti企業リーダーシップ賞を授与
2008年 北米で急成長をとげた企業の39位に選出
Inc誌による米国の急成長民間企業ランキング[Inc. 500]にランクイン(289位)すると共に、同誌の医療系企業トップ100にランクイン。

ゲストパネリスト

フィorenzo ガッリ
Fiorenzo Galli

政治経済学、財政学をミラノ大学にて修了。2001年よりレオナルド・ダ・ヴィンチ国立科学技術博物館の館長に就任する。また「コンフィニダストリア」と「アソロンバルダ」において様々な役職を歴任し、現在は両連盟の理事を務める。また科学技術文化発展のための専門家委員会の役員であり、イタリア文部省の科学文化普及委員会の運営委員を務める。ECSITE(ヨーロッパ科学技術産業展覧会委員会)、ドイツバイエルン州のドイツ博物館理事、また多数の科学委員会のメンバーでもある。国立科学技術博物館のマネジメントにおいて「イタリアで最も重要な科学博物館における教育的機能の充実に於いての就身的な取り組み」が評価され、「オランダ科学特別賞」の授与を受けた。

パネリスト

うめき まさお
梅垣 昌士

大阪大学大学院医学系研究科

1998年 大阪大学医学部附属病院
1999年 市立吹田市民病院脳神経外科
2000年 大阪府立母子保健総合医療センター 脳神経外科
2001年 市立泉佐野病院脳神経外科
2003年 マックスプランク神経研究所(ドイツ、ケルン) リサーチフェロー
2007年 錦秀会 阪和記念病院脳神経外科 大阪大学医学部脳神経外科特任助産師
厚生労働省医政局研究開発振興課ヒト幹細胞臨床研究対策専門官
2009年 大阪大学附属病院未来医療センター 特任講師
2011年 大阪大学臨床工学融合研究教育センター 特任准教授

ゲスト

たまひ ひろふみ
玉井 博文

株式会社マッスル 代表取締役

1988年 先進的なロボット開発に挑戦。制御機器開発ベンチャーとしてマッスル株式会社を設立。
1994年 大阪府研究開発型企業認定取得 ロボット用人工筋肉を開発、その応用として最先端の繊維機械や医療器を開発。
2000年 自社ブランドのロボット用人工筋肉をアメリカ市場に投入。注目を浴びるとともに、以降アジアやヨーロッパ市場にも投入。この分野のNo.1商品の地位を確立。
2010年 上海万国博日本産業館に世界初の壁面昇降人型ロボットを出展。念願のロボットビジネスに参入。会社設立以来、関わった製品のほとんどが世界規模のベストセラーとして活躍。

コーディネーター

あさだ みのる
浅田 稔

大阪大学大学院工学研究科知能・機能創成工学専攻教授

1989年 大阪大学工学部電子制御機械工学科助教授
1995年 同、教授
1997年 大阪大学大学院工学研究科知能・機能創成工学専攻教授

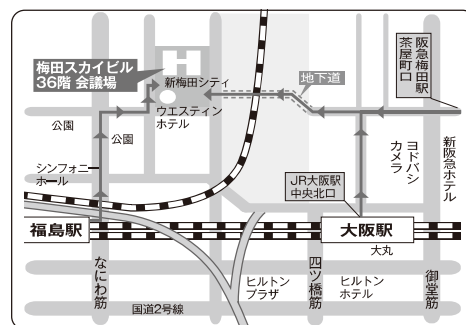
ロボカップの創始者の一人。知能ロボットの研究に従事。1990年代後半から、「認知発達ロボティクス」を提唱し、主に赤ちゃんの発達に焦点を置いた研究を中心に行ってきた。2005年からJST ERATO 浅田プロジェクトの総括を務め、多くのロボット研究を推進した。赤ちゃん学会(副理事長)、日本ロボット学会(元理事)、人工知能学会、IEEE Fellow (RAS, CS, CIS)などの学会員、IEEE/RSJ IROS'92 Best Paper Award、日本ロボット学会論文賞、大川出版賞など多数受賞。

お申込

電話・FAX・メールにて申込者全員(1枚につき2名までの)企業名・所属・お名前・連絡先をご記入のうえ、下記までお申し込み下さい。

締切 **平成23年10月31日(月)**
先着順で、定員(100名)になり次第締切ります。

電話の場合 **06-6348-1428**
FAXの場合 **06-6348-1375**
メールから **monodzukuri@jtbc.com**



参加申込書

個人情報の
お取り扱いについて

個人情報の利用目的について
個人情報の第三者提供について

ご提供頂いた個人情報は、参加証の送付・当日の参加確認及び緊急の場合のご連絡に利用いたします。それらの目的以外に使用する場合は、事前に参加者に通知してご同意を頂きます。
お預かりした個人情報は、業務委託先および主催者において適正な業務運営を目的に共同利用する場合がございます。

企業名	所属	お名前	連絡先
		フリカナ	電話
		フリカナ	電話

お問合わせ先 ▶ 世界ものづくりサミット事務局
TEL.06-6348-1428 FAX.06-6348-1375 mail:monodzukuri@jtbc.com